

令和元年度 NPO活動資金助成団体・助成事業一覧

No.	区分	団体名	事業名	助成額(円)
1	スタートアップ	荻窪家族プロジェクト 「百人カサロン」	「百人カてらこやⅡ」	263,000
2	ステップアップ	COSMO FEST	杉並ヒーロー映画祭2019 / 久我山ヒーロー上映会	273,306
3		すぎなみ子育てひろば chouchou	赤ちゃんカフェ	65,000
4		てんぐるま	すぎなみ共生推進プロジェクト (誰も置き去りにしない共生社会をめざすプロジェクト)	132,505
5		日本失語症協議会	第2回・第3回「要点筆記入門講座」	207,385
6		みかんぐみ	重度障害児者とその家族の自立生活支援事業	201,803
合 計 6件				1,142,999

## 助成金対象事業報告書(令和元年度)

団体名	荻窪家族プロジェクト「百人カサロン」
事業名	「百人力てらこやⅡ」
事業(該当区分に○)	① スタートアップ事業 2. ステップアップ事業
事業概要	さまざまな理由で放課後に孤立しがちな小学生のため、月2回～4回程度、居場所を提供し、地域住民が学習支援を行う。平成30年度実施した「百人力てらこや」では算数が中心だったが、来年度は国語と簡単な英会話を加え、休憩時間には読み聞かせなどを組み入れる。
事業目的	平成30年度の助成事業として実施した「百人力てらこや」は、学童クラブを利用しない子どもたちの受け皿となった。「百人力てらこや」を継続することで、子どもたちが地域の中で安心して勉強したり、遊んだりする、心地よい居場所として定着させる。

### 1 事業の実施状況 及び 自己評価

	事業計画	事業実施結果
実 施 状 況	①実施対象者・対象人数(延べ人数) ・対象者＝小学1年から6年生 ・300人	①実施対象者は計画通り小学1年から6年生とした。年間延べ300人の見込みに対し夏休みに参加者が予定に達しなかった。登録者は26人と多かったが6年生の出席率が低かった。今回は1月末からコロナウィルスの影響で予定していた2回分が中止とせざるを得なかった。延べ人数は252人であった。
	② 実施内容 実施時期・時間＝予定：6月2回、7月3回、8月2回、9月4回、10月4回、11月4回、12月3回、1月2回、2月3回、3月3回15時半から17時半まで ・内容＝子どもたちに「算数」「日常英会話」などを中心に教える。休憩時間には読みかせ、読書などを取り入れる。 ・講師：算数1名、英会話2名	② 実施内容 実施回数は30回の予定であったが29回実施した。地域小学校の就学時程にあわせ15時半から17時半までとしたが3年生以上の下校時間が16時過ぎと遅くなったためカリキュラム編成には苦労した。「算数」と「英会話」を教えた。低学年には月1回読み聞かせを取り入れた。
	③ 実施場所・実施回数・スケジュール 実施場所：荻窪家族レジデンス内 集会室、 実施回数：30回／9か月 時間：15時30分から17時50分まで	③ 実施場所・実施回数・スケジュール 実施場所：荻窪家族レジデンス内 集会室、 実施回数：29回(月2回×2ヶ月・3回×4ヶ月・4回×2ヶ月、5回×1ヶ月) スケジュール：平成30年6月から平成31年2月 9ヶ月
	④ 実施体制(必要とされる人員や設備等、実施方法や人員等の確保状況) 学習支援者＝3名 設備：PC、プリンター、プロジェクター、スクリーン、机、椅子などはレジデンス既設品を使用 実施方法＝上記①、②項にもとづき実施。	④ 実施体制(必要とされる人員や設備等、実施方法や人員等の確保状況) 講師：3名 講師助手：1名と登録ボランティア2名により交代で支援 設備：PC、プリンター、CDカセット、を借用。机、椅子は既設品を借用。特に問題集を大量に印刷したのでコピー用紙とインク代にコストを要し、また借用したプリンターに大きな負担をかけた。
	⑤ 広報活動(団体活動や事業の周知・PR(集客)方法) チラシを作成し、近隣の小学校に配布したり、町会の回覧板に載せてもらったり、ポスティングしたりする。「百人カサロン」のホームページへの掲載。フェイスブック活用。掲示板「でんごんくん」への掲示。	⑤ 広報活動(団体活動や事業の周知・PR(集客)方法) 30年度から継続の子どもの保護者の口コミによるものが大きかった。チラシを作成して学校にお願いした。

2 実施事業の効果・成果 及び 自己評価

	事業計画時	事業実施後
効果・成果 及び 自己評価	<b>当初予定したニーズがありましたか。新たな問題提起ができましたか。</b>	
	<p>①ニーズの把握(どのようなニーズや現状から本事業を実施しようと考えましたか)</p> <p>1. 学童クラブや児童館があっても、①集団に馴染めない②費用負担(月額5,800円)が大きい③高学年は利用できない—などの理由で利用できず、保護者が戻るまで自宅で留守番している児童は多い。</p> <p>2. 「百人力てらこや」を実施している荻窪家族レジデンス(荻窪4丁目)に比較的近い桃二小、西田小両校の児童1,141人(平成30年度末)のうち、上記の事情で放課後孤立しがちな児童たちの受け皿となりうる。</p> <p>3. 平成30年度の成果として、勉強や遊びを通して子どもたちが集団性・社会性を身につけていることが分かった。</p> <p>★上記人口数値は杉並区人口統計表(地域別、年齢別、各学校就学児童数)を引用。</p> <p>★学童クラブ実態は学童クラブより利用具合の聞き取りによる。</p>	<p>①登録者数が26名で部屋の定員の関係で2班に分けて実施した。ニーズはあり残念ながら参加希望者にお断りをせざるを得なかった。「子どもの居場所」としての「百人力てらこや」はその機能を十分に発揮できた。保護者からの反応も昨年に続き良好で継続を希望される事業であったことがわかった。昨今の子どもの居場所問題を考えるとまだまだ潜在的ニーズは掘り起こせば多いが、施設やスタッフの確保ができないのが現状である。</p>
	【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>	
	<input checked="" type="checkbox"/> ①あった <input type="checkbox"/> ②概ねあった <input type="checkbox"/> ③あまりなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどなかった	
	<b>団体や地域特性をどのように生かした活動になりましたか。</b>	
	<p>② 団体・地域的特性(団体や地域の特性をどのように生かした事業ですか)</p> <p>荻窪家族レジデンスは住宅地にあつて小学生も多く、子ども向けイベントにも関心が高い地域。同レジデンスの「百人カサロン」は、食堂やお茶会、暮らしの保健室などが定期的に開催され、地域の多様な人たちが集う場所。子どもたちの安全な居場所として適切である。</p>	<p>②当団体施設は居住者と日頃より多くの方が出入りしている関係で、30年度から引き続き地域の方3名がボランティアとして交代で講師補助役として参加してくれたことは心強く、大きな収穫であった。荻窪家族レジデンスに居住されているお年寄りやサロンメンバーからケーキの差し入れがありお年寄りも関心を持ってくださることが分かった。</p>
	【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>	
	<input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった	
	<b>当初想定した「期待される効果」をあげることができましたか。</b>	
	<p>③期待される効果(区民や地域にもたらす具体的な効果はどのようなものかと考えていますか)</p> <p>「百人力てらこや」に集う子どもたち同士の学年を超えた新しいつながりが生まれるほか、「百人カサロン」に集う大人との多世代交流や、地域コミュニティの広がりが期待できる。</p> <p>(助成を受けることで、団体活動や事業発展にどのような効果(継続性・発展性)がありますか)</p> <p>引き続き助成を受けることにより、「百人力てらこや」の継続と定着が可能となる。また、子どもたちが「百人力てらこや」に参加することで保護者の不安が軽減される。その結果、「百人力てらこや」の子どもと保護者、かれらを支える地域住民の新たな交流が生まれることが期待される。</p>	<p>③子どもたちは桃井第二・西田小学校区、のほか杉並第七・杉並第二小学校区から幅広く集まり、違う学校同士の子どもの交流が出来た。「百人力てらこや」以外のイベント「そうめん流し」「子どもクリスマス会」「隣人まつり」にてこや参加の保護者も集まり、サロンメンバーのシニアとの交流に発展した。</p>
【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
<input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった		
<b>今回行った事業を通して、理解者や支援者は広まりましたか。</b>		
<p>「百人力てらこや」は、地域の方の関心と評価を得た。上記にも述べたがお年寄りからのケーキ差し入れなどサプライズであった。幼稚園児を持つ母親からはこの子が小学校に入るまで続けてください。と頼まれたりしている。</p>		
【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> ①広がった <input type="checkbox"/> ②多少広がった <input type="checkbox"/> ③広がらなかった		

### 3 事業は当初の予定どおり実施できましたか。

自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが毎回楽しみにして喜んで通ってくること。</li> <li>・保護者から感謝されていること。</li> <li>・講師やボランティアが子どもに対して適切に対応したこと。</li> <li>・事故やトラブルがなく実施できたこと。</li> <li>・英会話を取り入れたことにより学びの幅が広がったこと。</li> </ul>
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p> <input checked="" type="checkbox"/>①できた                      <input type="checkbox"/>②概ねできた                      <input type="checkbox"/>③あまりできなかった                      <input type="checkbox"/>④ほとんどできなかった             </p>

### 4 「杉並区NPO支援基金」の普及啓発活動はできましたか。

普及活動等	<p>この事業は「杉並区NPO支援基金の助成金」で運営されていることをチラシ配布や支援募金箱を設置して広報活動した。募金箱に大金ではないが小銭が入っていたことで認知されたと感じている。</p>
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p> <input type="checkbox"/>①できた                      <input checked="" type="checkbox"/>②概ねできた                      <input type="checkbox"/>③あまりできなかった                      <input type="checkbox"/>④ほとんどできなかった             </p>

### 5 課題と今後の活動について

今後課の題活と動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の下校時間が期の途中で変更があったためカリキュラム編成で苦勞した。次回は枠を増やす方向で対処。</li> <li>・実質1時間半の中で算数と英会話を実施するのは休憩時間も取れずタイトなスケジュールであり子供たちに負担をかけた。</li> <li>・低学年(3年まで)を落ち着かせるためのコントロールに苦勞した。集中させる仕掛けづくりが必要。</li> </ul>
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 6 活動状況について



荻窪家族プロジェクト「百人カサロン」  
「百人かてらこやV2」

- ★ 宿題持込自主勉強
- ★ 算数・国語・英会話を楽しく学ぼう
- ★ その他 ひえじ〜が教えます  
囲碁、将棋、おもしろサイエンスもやるよ!

◆ 日時 ○月○日(木) 午後3時半から5時半  
○月○日(木) 同上  
○月○日(木) 同上

※午後2時には開館して早くから早く来て学習や好きを  
こなしたいですね!

◆ 場所：荻窪家族センター (荻窪4-24-18)

◆ 先生：橋本光太郎(ひえじ〜)

◆ 費用：100円(1歳)

◆ 定員：10人程度

◆ 保険加入のため  
初回参加前に、お申込みが必要です。お名前、住所、緊急連絡先を下記申し込みを御下下さい。

児童氏名	住所	学年	緊急連絡先 (お父様/お母様/その他)	受付時間 (お申し込み)

◎事前申し込みはコチラ：荻窪家族センター受付 申し込み用メール FAXにて  
oskubokasokoevent@gmail.com  
fax 050-3730-6872 問い合わせ 090-1659-9237(中澤)  
この事業は杉並区NPO活動資金助成事業です。



2019/06/20






## 7 収支決算

事業費	[D]	291,174	助成金	[E]	263,000
-----	-----	---------	-----	-----	---------

	予算額		決算額		決算額内訳	
収入	団体負担金	2,000		2,974	団体負担金	
	参加費・資料代等	30,000		25,200	29回開催 延べ252名×100円	
	その他の収入					
	計	[C]	32,000	[F]	28,174	自己資金等
	助成金	[B]	263,000	[E]	263,000	NPO活動資金助成金
	合計	[A]	295,000	[D]	291,174	

費目	予算額		決算額		決算額内訳	
	助成金対象経費	自己資金等対象経費	助成金対象経費	自己資金等対象経費		
①謝礼金等 (講師が団体内部 の場合は対象外)			87,000		算数講師代(29回×3000円)	
			81,000		英会話講師代(27回×3000円)	
			12,000		講師補助(12回×1000円)	
	小計	180,000		180,000		
②旅費・交通費			1,000	650	英会話講師交通費	
			9,000	504	東京メトロ(南阿佐ヶ谷⇄荻窪5日×330円)	
					関東バス(西田端橋⇄荻窪22日×432円)	
小計	10,000	3,200	10,000	1,154		
③備品費・消耗品費			23,000	2,585	紙・インク代	
				5,742	紙コップ・事務用品他	
				9,020	英語ノート代	
小計	23,000	12,800	23,000	17,347		
④通信運搬費						
小計						
⑤印刷製本費 (デザイン・原 稿作成含む)						
小計						
⑥使用料・賃借料						
小計						
⑦その他の経費			10,000	1,060	行事保険料	
			40,000	4,798	スポーツドリンク・ジュース・菓子代	
				2,000	ボランティア費用弁償	
				1,815	振込手数料	
小計	50,000	16,000	50,000	9,673		
合計			263,000	28,174		
	[B]	263,000	[C]	32,000	[E]	263,000
	[A]	295,000	[D]	291,174	[F]	28,174
					交付済助成金と助成金決算額との差額	

☆ 注意事項(1)単価が10万円を超える物品は、見積書等を添付してください。(2)団体運営のための継続的な経費は助成対象外とします。

## 助成金対象事業報告書(令和元年度)

団体名	特定非営利活動法人 COSMO FEST
事業名	杉並ヒーロー映画祭2019 / 久我山ヒーロー上映会
事業(該当区分に○)	1. スタートアップ事業 <u>2. ステップアップ事業</u>
事業概要	<p>1 映画祭(杉並ヒーロー映画祭 2019) 日本全国から自主制作映画を募集し、コンペティションやゲスト審査員による公開講評会を実施。優秀な作品に対しては、英語字幕版の制作を含め海外映画祭への応募支援を副賞として授与。運営からゲスト審査員まで全てを若い世代が担い、杉並区の文化的側面を活性化させていく。</p> <p>2 上映会(久我山ヒーロー上映会) 杉並区の方々により多くの映画を体験して頂くこと、将来的な映画館設立に向けた知見を獲得することを目的に、2017年より杉並区内で自主制作映画上映会を実施。監督との質疑応答セッションや子供向けワークショップ等も企画。</p>
事業目的	<p>自主制作映画を区民の方に、娯楽として純粋に楽しんでいただき、映画文化にもっと関心を持って頂くことを目的としています。</p> <p>身近に映画を体験できる環境をすることで、地域の方々の生活をより豊かにすると同時に映画制作者の上映機会も増加し、芸術・文化の振興に繋がると考えております。</p> <p>その延長線上として、映画館の設立を将来的な目標としております。</p>

### 1 事業の実施状況 及び 自己評価

	事業計画	事業実施結果
実 施 状 況	<p>①実施対象者・対象人数(延べ人数)</p> <p>【映画祭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>杉並区民及び周辺地域に在住の映画に興味を持つ者(250人)</li> <li>映画制作者、またその関係者(100人)</li> </ul> <p>【上映会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>杉並区民及び周辺地域に在住の映画に興味を持つ者(100人)</li> <li>映画制作者、またその関係者(36人)</li> </ul>	<p>【映画祭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>杉並区民及び周辺地域に在住の映画に興味を持つ者(250人)</li> <li>映画制作者、またその関係者(100人)</li> </ul> <p>【上映会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>杉並区民及び周辺地域に在住の映画に興味を持つ者(100人)</li> <li>映画制作者、またその関係者(36人)</li> </ul>
	<p>②実施内容</p> <p>【映画祭】</p> <p>国内から幅広いジャンルの自主制作映画を募集 コンペティションを実施し8作品程度を上映 ゲスト審査員とノミネート監督らによる講評会を実施 優秀作品には英語字幕版の制作と海外映画祭への応募支援を副賞として付与</p> <p>【上映会】</p> <p>久我山において月に1回実施(2018年12月より) 上記映画祭での上映作品を中心に1日3本程度を上映 監督との質疑応答やワークショップも企画実施</p>	<p>【映画祭】</p> <p>国内から幅広いジャンルの自主制作映画を募集 コンペティションを実施し8作品程度を上映 ゲスト審査員とノミネート監督らによる講評会を実施 優秀作品には英語字幕版の制作と海外映画祭への応募支援を副賞として付与</p> <p>【上映会】</p> <p>久我山において、5回実施(助成金事業対象期間内) 上記映画祭での上映作品を中心に、1日に2作品の上映を屋内1回、屋外で1回開催</p>
	<p>③実施回数・スケジュール・実施場所</p> <p>【映画祭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2019年9月7日(土)の1回</li> <li>座・高円寺2 (予約確定済み)</li> </ul> <p>【上映会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2019年1月から毎月実施の計8回(土日の何れか)</li> <li>シーダHATA (久我山駅周辺の施設)</li> </ul>	<p>【映画祭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2019年9月7日(土) 13:00-20:00</li> <li>座・高円寺2</li> </ul> <p>【上映会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>8/18,11/23,12/15,1/25,2/15 計5回</li> <li>シーダHATA (久我山駅周辺の施設)</li> </ul>

<p>④実施体制(実施方法や設備、従事者等の確保状況)</p> <p>【映画祭】</p> <p>当日の運営スタッフ約10名、当日までの企画スタッフ約5名</p> <p>当法人の会員を中心に確保し状況によりボランティアを募る予定</p> <p>会場は座・高円寺2を確保済み</p> <p>集客に向けたフライヤー・ポスターを制作中</p> <p>Webサイトの運営、SNSによるプロモーションを実施中</p> <p>【上映会】</p> <p>企画・運営スタッフ約2名</p> <p>場所は久我山駅近くのシーダHATAにて実施予定</p> <p>プロジェクター・スクリーンは会場に設置されているものを使用中</p> <p>集客に向けたフライヤー・ポスターは適宜制作</p> <p>Webサイト、SNSによるプロモーションを実施中</p>	<p>【映画祭】</p> <p>運営ボランティアスタッフ10名、企画・運営責任スタッフ4名</p> <p>座・高円寺2の上映設備を用いて上映</p> <p>集客に向けたフライヤー・ポスターを制作</p> <p>Webサイトの運営、SNSによるプロモーションを実施</p> <p>【上映会】</p> <p>企画・運営スタッフ約2名</p> <p>久我山駅近くのシーダHATAにて実施</p> <p>プロジェクター・スクリーンは会場設備を使用</p> <p>集客に向けたフライヤーを制作</p> <p>Webサイト、SNSによるプロモーションを実施</p>
<p>⑤広報活動(活動や事業の周知・PRの状況)</p> <p>【映画祭・上映会】</p> <p>チラシ配布・団体WEBサイト・SNS・広報すぎなみ</p>	<p>【映画祭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ、ポスター制作</li> <li>・団体HP、SNSなどwebでの告知、報告</li> </ul> <p>【上映会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ、ポスター制作</li> <li>・団体HP、SNSなどwebでの告知、報告</li> <li>・広報すぎなみ</li> </ul>

2 実施事業の効果・成果 及び 自己評価

	事業計画時	事業実施後
効果・成果 及び	当初予定したニーズがありましたか。新たな問題提起ができましたか。	
	<p>【映画制作者(日本国内すべて)】 本映画祭への応募総数は、毎年平均10%以上増加しています。これは映画祭への関心が増えただけでなく、制作した自主制作映画を流すイベントや場所自体が少ないことも意味すると考えます。現状東京都内でも自主制作映画の上映機会は少ないことも含め、他の芸術・文化が盛んな杉並区だからこそ、映画文化のより一層の発展が期待出来ます。</p> <p>【映画を見る人(杉並区内)】 映画祭・上映会において、子どもから高齢者まで幅広い世代の方々に映画を体験して頂きましたが、今までよりも多くの方々に楽しんでいただくと同時に、杉並区内に映画館のような映画を見る場が少ないという声がありました。今後は、毎月の上映会をベースにより一層杉並区の映画ファンのニーズに応え、かつ年に1度の映画祭のイベント性を強化していくことで、年間を通した映画体験を地域の方々に与えることが出来ます。</p>	<p>【映画制作者(日本国内すべて)】 今年度は、映画祭のコンペティションに過去最多の作品応募があり、自主制作映画を流す場の需要の増加を改めて感じました。映画祭の特性上扱える作品数に限りがあり、どのような形でもっと数を多くできるかは来年度の課題として感じています。</p> <p>【映画を見る人(杉並区内)】 上映会では、常連となってくださるお客様もできたり、また、今年度より野外上映を行なった結果、飛び込みで鑑賞される方や、上映会に興味を持って質問して下さる方がいました。定期的上映を行っていくことにより、地域の方により根付いていくことが今後の課題と感じております。</p>
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/>①あった      <input type="checkbox"/>②概ねあった      <input type="checkbox"/>③あまりなかった      <input type="checkbox"/>④ほとんどなかった</p>	
	<p>団体や地域特性をどのように生かした活動になりましたか。</p> <p>制作者・鑑賞者双方に映画祭や上映会の需要があると考えます。作品の上映機会が増えることで、映画制作者のような作り手とその映画を見る受け手、双方が満たされるだけでなく、多種多様な交流を生みながら、更なる芸術の需要が生まれるという構造にしていきたいです。総合芸術である映画に触れる機会が増えることで杉並区の芸術・文化の振興に寄与できると考えます。</p> <p>久我山での上映会では、作品の監督が来場し、鑑賞した地域の方々や、自主制作映画に興味のある方との交流が生まれました。監督からも生の声が聞けて嬉しいという感想や、地域の方も制作者へ直接リアルな場で感想を伝えられるという、あまり味わうことのできない体験を提供できたと感じています。</p>	
<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p><input type="checkbox"/>①できた      <input checked="" type="checkbox"/>②概ねできた      <input type="checkbox"/>③あまりできなかった      <input type="checkbox"/>④ほとんどできなかった</p>		

<b>自己評価</b>	<b>当初想定した「期待される効果」をあげることができましたか。</b>
	<p>【区民や地域にもたらす具体的な効果はどのようなものがあると考えていますか】</p> <p>杉並区に密着した、根付いた映画祭・上映会を行うことで、地域の方々により一層映画を身近に体験して頂くことが出来る。</p> <p>多くの人の芸術・文化への関心向上につとめ、杉並区の芸術・文化振興に貢献することが出来る</p> <p>【助成を受けることで、団体活動や事業発展にどのような効果(継続性・発展性)がありますか】</p> <p>定期的な上映機会を設けることにより、映画制作者の制作意欲を向上・継続させ、日本の映画文化の成長に繋げることが出来る。</p> <p>杉並区内の様々な場所で上映を行うことで、地域の商店や他のNPO法人と連携等により活動の幅が広がり、会員数や支援者を増やして更なる事業拡大を目指すことが出来る。</p> <p>地域に根差した団体としての認知度が向上し、杉並区内に映画館を設立するという将来的な目標に向け、活動基盤を強化することが出来る。</p>
	<p>【区民や地域にもたらす具体的な効果はどのようなものがあると考えていますか】</p> <p>上映会の会場前を通りすぎる地域の方々に、このような上映があるなら今度行ってみたいという声をいただいたり、いつもチラシを見て気になっていたという方が、野外上映を見て飛び入りで参加される方がいらっしゃいました。映画・自主制作映画という文化が、地域の方々により身近なものとして楽しんでいただける礎を築くことができた1年だと感じております。</p> <p>【助成を受けることで、団体活動や事業発展にどのような効果(継続性・発展性)がありますか】</p> <p>助成金があったことで、普段、開催や集客に苦戦していた上映会をより効果のある形で継続することができました。今回の上映会での反応や経験を踏まえて、高円寺にて上映会を今後予定するなど、新たなステップを踏むこともできております。</p> <p>また、上映会には「NPO法人久我山からー」さんのご協力をいただきながら、さらに地域の人々や団体の方々と交流も生まれております。</p>
<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p><input type="checkbox"/>①できた      <input checked="" type="checkbox"/>②概ねできた      <input type="checkbox"/>③あまりできなかった      <input type="checkbox"/>④ほとんどできなかった</p>	
	<b>今回行った事業を通して、理解者や支援者は広まりましたか。</b>
	<p>先でも記載しているように、映画・自主制作映画を楽しんでいただく地域のお客様が多くなったことも実感できました。制作者とも、映画祭をはじめ上映会でさらに上映の場を設けることでお互いの理解が深まり、協力いただける関係を築くことができました。</p> <p>また、高円寺の映画館など新たに協力いただける関係者も増えてきたりと、1年で制作者・観客・発信者とそれぞれ関係性が広がることができました。</p>
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/>①広がった      <input type="checkbox"/>②多少広がった      <input type="checkbox"/>③広がらなかった</p>

3 事業は当初の予定どおり実施できましたか。

自己評価	映画祭は予定通り実施できましたが、上映会は台風や大雨の災害が予想される時に時期が重なってしまったため回数が少なくなっていました。ただ、意図していた活動を行うことはでき、効果のある活動は予定通り実施できました。
	<p>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</p> <p> <input type="checkbox"/>①できた                      <input checked="" type="checkbox"/>②概ねできた                      <input type="checkbox"/>③あまりできなかった                      <input type="checkbox"/>④ほとんどできなかった             </p>

4 「杉並区NPO支援基金」の普及啓発活動はできましたか。

普及活動等	各事業の実施時に、募金箱やパンフレットの設置、タペストリーを掲示し普及啓発に寄与できたと思います。また、杉フェスでも多くの方に募金を始め、支援基金が支援している事業についてご理解いただくことへのご協力ができたと思います。
	<p>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/>①できた                      <input type="checkbox"/>②概ねできた                      <input type="checkbox"/>③あまりできなかった                      <input type="checkbox"/>④ほとんどできなかった             </p>

5 課題と今後の活動について

今後の課題と活動	今回の活動を通して、区民の方々の反応や意見を伺うと、杉並区内での映画・自主制作映画に触れる機会がまだ少ないと感じました。我々としては上映の場を継続して行うための、資金と体制を整えることが課題と感じております。1年を通して理解者・協力者が増えてきた実感がありますので、来年度は今年度以上の上映機会を設け、また久我山以外での上映会も実施していきたいと思ひます。
----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 活動状況について

★具体的な活動風景の写真などを貼付



7 収支決算

事業費	[D]	483,806	助成金	[E]	273,306
-----	-----	---------	-----	-----	---------

	予算額		決算額		決算額内訳
団体負担金		26,000		51,080	団体負担金
参加費・資料代等		144,000		121,720	映画祭チケット
		10,000			上映会参加費
その他の収入		30,000		37,700	還付金
計	[C]	210,000	[F]	210,500	自己資金等
助成金	[B]	316,000	[E]	273,306	NPO活動資金助成金
合計	[A]	526,000	[D]	483,806	

費目	予算額		決算額		決算額内訳	
	助成金対象経費	自己資金等対象経費	助成金対象経費	自己資金等対象経費		
①謝礼金等 (講師が団体内部 の場合は対象外)			20,000		映画祭審査員 (@10,000円×2名)	
				59,700	映画祭大賞副賞	
			40,000		上映会作品上映料 (@5,000円×4回、@10,000円×2回)	
小計	70,000	50,000	60,000	59,700		
②旅費・交通費			10,000		ボランティア交通費(9/7映画祭 @1,000円×10名)	
				15,580	交通費(タクシー代/駐車場代)	
小計	10,000	35,000	10,000	15,580		
③備品費・消耗品費				18,000	上映会飲食費	
			15,538	3,367	上映会備品(紙コップ/炭/スピーカー)	
			4,938	2,393	その他備品(CD-R/文房具/タックシール)	
小計	30,000	15,000	20,476	23,760		
④通信運搬費			5,260		郵送料(監督へのDVD・チラシ郵送)	
小計		10,000	5,260			
⑤印刷製本費 (デザイン・原 稿作成含む)			34,000		デザイン制作費	
			2,400		映画祭ポスター	
			4,800		映画祭チラシ(フライヤー1,000部/応募チラシ200部)	
			4,660		映画祭パンフレット200部	
			2,000		映画祭アンケート200部	
			11,460		その他印刷費(映画祭チケット/上映会チラシコピー/インク)	
小計	61,000		59,320			
⑥使用料・賃借料			75,400		座高円寺使用料(9/7 映画祭)	
			8,050		座高円寺備品レンタル(9/7 映画祭)	
			24,600		座高円寺技術立ち合い料(9/7 映画祭)	
				20,500	会議室利用料(9/7 映画祭)	
			200		その他使用料(9/7 映画祭)	
小計	95,000	20,000	108,250	20,500		
⑦その他の経費			10,000		映画祭SNS(フェイスブック広告)	
				89,960	映画祭懇親会費	
				1,000	その他	
小計	50,000	80,000	10,000	90,960		
合計			273,306	210,500		
	[B]	316,000	[C]	210,000	[E]	273,306
	[A]	526,000	[D]	483,806	[F]	210,500
				-42,694	交付済助成金と助成金決算額との差額	

☆ 注意事項(1)単価が10万円を超える物品は、見積書等を添付してください。(2)団体運営のための継続的な経費は助成対象外とします。

## 助成金対象事業報告書(令和元年度)

団体名	特定非営利活動法人 すぎなみ子育てひろばchouchou
事業名	赤ちゃんカフェ
事業(該当区分に○)	1. スタートアップ事業 (2) ステップアップ事業
事業概要	妊娠中の方及び0歳児親子に特化した親子のひろばとして週1回2時間開催する。利用者同士の情報交換、スタッフとの何気ない会話、他のお子さんとのふれあい、お茶タイムなどを通じて、ママの育児への不安や孤独感を少しでも和らげることが出来ることをめざす事業。
事業目的	主な対象である0歳児親子の赤ちゃん和妈妈がゆったりと過ごすことのできる居場所を提供する。ママの気持ちに寄り添いリラックスできる空間となることで、お母さんの育児への不安をすこしでも和らげることにつなげたい。

### 1 事業の実施状況 及び 自己評価

	事業計画	事業実施結果
実 施 状 況	①実施対象者・対象人数(延べ人数) 0歳児親子及び妊婦 1回の人数は安全を考えて20組を目安とし、場合によっては並行して開いているつどいの広場へ案内することもあり	期間中の(6月～2月)に329組の親子の参加があった。15組を超えるとそれ以後の来場者には安全性を保つためにも「つどいの広場」を案内した。パパお父さんの参加はあったものの、妊婦さんの参加はなかったのは残念だった。
	②実施内容 予約不要でふらっと来ることのできる0歳児親子専用のひろばで妊婦さんも歓迎。お茶と焼きたてクッキーと共にゆつくりと会話を楽しんだり、情報交換など自由に過ごす。 スタッフは必要に応じてママ同士をつなげたり、簡単な相談に応じ、他のサービスの紹介することもある。さらにプチ講座「抱っことおんぶ」を定期的開催。	利用親子の実数が100組を超えて、毎回様々な月齢の赤ちゃんが集まり、にぎやかな時間を過ごすことが出来た。 助産師による「抱っことおんぶ講座」も5回開催でき、参加者からは「腰が楽になった」「安全に抱っこできるようになった」と好評だった。 時間の後半にあるお茶の時間は焼きたてクッキーが美味しく、赤ちゃんと少し離れ、ゆつくり過ごしてもらった。お茶の時間はスタッフが赤ちゃんを見守っている。
	③実施回数・スケジュール・実施場所 毎週水曜日(祝日除く) 第1・4水曜日 午前10時～12時 第2・3・5水曜日 午後1時～3時 場所:お茶の間ひろば茶ちゃ(杉並区上荻3-26-14)	予定どおり、毎週水曜日の2時間、「お茶の間ひろば茶ちゃ」を会場とし、6月1日～2月29日までで37回開催した。
	④実施体制(実施方法や設備、従事者等の確保状況) 常にスタッフ3～4名の体制。企画運営・当日受付・見守り・クッキー準備などにあたる。	5名のスタッフでシフトを組み、毎回4名で活動した。室内はフローリングだが、マットと布カバーを敷き、赤ちゃんが安全に動き回ることが出来る場所を確保した。
	⑤広報活動(活動や事業の周知・PRの状況) 団体webサイト、フェイスブック、チラシ掲示、配布により周知	団体のWEBサイト、フェイスブックでの周知をはじめ、チラシを作成し区の施設や赤ちゃん親子が集まる場所に配布した。また、利用者にアンケートをとり、要望を聞くと共に、助成事業の周知をした。

## 2 実施事業の効果・成果 及び 自己評価

	事業計画時	事業実施後
効果・成果 及び 自己評価	<b>当初予定したニーズがありましたか。新たな問題提起ができましたか。</b>	
	初めての育児に不安や孤独を感じていること の多い0歳児の育児中のママを主な対象とする居場所が必要とされているとの思いからスタートした。今までは基本的にはプログラムも設けずにいたが、高齢出産や核家族が多い中、基本的な、そして時代にあった育児に関する情報提供も必要と感じ、気軽な講座の企画を考える。	生後1カ月から11ヶ月の赤ちゃん和妈妈が、リラックスできる場所を求めての利用が多く、パパの参加もあった。参加者はゆっくりと会話を楽しんだり他のお子さんの様子を見たり、スタッフに質問する等をして過ごし、企画した抱っこ紐の講座も好評だった。妊婦さんへの周知が足りず参加がなかったのが残念だった。
	<b>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>	
	<input type="checkbox"/> ①あった <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねあった <input type="checkbox"/> ③あまりなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどなかった	
	<b>団体や地域特性をどのように生かした活動になりましたか。</b>	
	「地域で子育て」が基本理念である団体として、地域の身近な存在であり、いつでも支えになることが出来ると伝えることができる。高齢出産や実家が遠い、出産直前まで働き地域の情報をあまり知る機会がない、そんな状態で育休に入った母親も多く、人とのつながりを求めるお母さん方の安らぎの場所としたい。	この地で長年子育てひろばや一時預かりなどの子育て支援の活動を続け、多くの利用者との出会いがあったことで、2人目を出産したお母さんの利用もあり、先輩ママとしての顔をみせてくれた。また、団体の他の活動との連携も計り、保健センターから産前産後支援ヘルパー→赤ちゃんカフェ→一時預かりやつどいの広場へとお子さんの成長と共に、繋がりを持った地域のサポートとしての役割を担うことが出来た。
<b>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった		
<b>当初想定した「期待される効果」をあげることができましたか。</b>		
参加者にとっては、子育てからくるストレスや閉塞感から解放され、集った人が皆で我が子の成長の喜びを共有することが出来る。また、助成を受けることで、しっかりと本事業の目的達成のために必要なことを考え、講座を開催することで参加者のニーズをさらに計る事が出来る等、内容に厚みを持たせたい。	楽しみににしているリピーターも多く、ストレスの開放に役立っていると思われる。毎回月齢も変わってくるので、成長の過程もわかり、ママ同士の情報共有も図られながら子育てに対する不安の軽減もはかれたと思う。プチ講座を開催することでお母さんたちの声にも触れることができ、今後への大きな参考となった。	
<b>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった		
<b>今回行った事業を通して、理解者や支援者は広まりましたか。</b>		
初めて利用された方にきっかけを伺うと、母親同士の口コミで、赤ちゃんカフェの存在を知った方も多かった。子育て世代を中心にこの事業の意義が浸透してきているのを感じている。		
<b>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> ①広がった <input type="checkbox"/> ②多少広がった <input type="checkbox"/> ③広がらなかった		

### 3 事業は当初の予定どおり実施できましたか。

自己評価	順調に予定通りの日程で実施することができた。毎回一定数の参加者もあり、1回1回を丁寧に対応してきた。講座に関してはもっと内容や回数を増やしても良かったと思う。
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p> <input checked="" type="checkbox"/>①できた                      <input type="checkbox"/>②概ねできた                      <input type="checkbox"/>③あまりできなかった                      <input type="checkbox"/>④ほとんどできなかった             </p>

### 4 「杉並区NPO支援基金」の普及啓発活動はできましたか。

普及活動等	チラシ、ウェブサイトには助成金事業であることを記載し、本事業開催時には募金箱とタペストリーを設置した。募金箱は本事業開催日以外は毎日開いている「つどいの広場」に設置し、あわせてポスターの掲示もした。赤ちゃんカフェ利用者に向けて実施したアンケートにも項目を設け、周知に努めた。
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p> <input checked="" type="checkbox"/>①できた                      <input type="checkbox"/>②概ねできた                      <input type="checkbox"/>③あまりできなかった                      <input type="checkbox"/>④ほとんどできなかった             </p>

### 5 課題と今後の活動について

今後課題と活動	0歳児親子を対象としているため、半年～1年のサイクルで利用者が変わるにより、その時々ニーズに合った対応が必要と考えている。講座の充実のほか、プレママ・パパの利用に向けていかに働きかけが出来るか、どのような内容が必要か今後検討していきたい。妊娠期からの「切れ目のない支援」のためにも果たせる役割があると思う。
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 6 活動状況について



## 7 収支決算

事業費	[D]	289,879	助成金	[E]	65,000
-----	-----	---------	-----	-----	--------

	収入		支出	
	予算額	決算額	予算額	決算額
団体負担金	36,000	27,479		
参加費・資料代等	180,000	197,400	参加費 @600×329組	
その他の収入				
計	[C] 216,000	[F] 224,879	自己資金等	
助成金	[B] 65,000	[E] 65,000	NPO活動資金助成金	
合計	[A] 281,000	[D] 289,879		

費目	予算額		決算額		決算額内訳
	助成金対象経費	自己資金等対象経費	助成金対象経費	自己資金等対象経費	
①謝礼金等 (講師が団体内部 の場合は対象外)			15,000		講座講師謝礼@3000×5回
			1,000		イベント謝礼@1000×1回
小計	12,000		16,000		
②旅費・交通費					
小計	3,000				
③備品費・消耗品費			31,500		クッキー生地@4500×7
			12,931		飲み物、ストロー等
			9,238		オムツ替えシート、マルチカバー等
			1,210		コピー用紙
小計	50,000		54,879		
④通信運搬費					
小計					
⑤印刷製本費 (デザイン・原 稿作成含む)					
小計					
⑥使用料・賃借料					
小計					
⑦その他の経費				219,000	スタッフ人件費
小計		216,000		219,000	
合計			70,879	219,000	
				5,879	交付済助成金と助成金対象経費合計額との差額
	[B] 65,000	[C] 216,000	[E] 65,000	[F] 224,879	
	[A] 281,000		[D] 289,879		

☆ 注意事項(1)単価が10万円を超える物品は、見積書等を添付してください。(2)団体運営のための継続的な経費は助成対象外とします。

## 助成金対象事業報告書(令和元年度)

団体名	特定非営利活動法人 てんぐるま
事業名	すぎなみ共生推進プロジェクト(誰も置き去りにしない共生社会をめざすプロジェクト)
事業(該当区分に○)	1. スタートアップ事業 ②. ステップアップ事業
事業概要	地域での共生社会の推進への事業①「不登校の真実」上映と子どもの権利条約学習会 ②阿佐ヶ谷地域等のフィールドワーク(シャルソンの形)外国人等マイノリティの暮らしを知る ③「Workers 被災地に起つ」上映と原発事故被災者講演④障害児・者の就学・自立生活の相談。
事業目的	障害者権利条約、子どもの権利条約、そして国内法の実現を考察する。障害者、そして子ども、マイノリティの人々の人としての権利が保障され、差別がなくなり、地域で当たり前で生活できる共生社会、インクルーシブ社会を目指す。そのための学習・啓蒙・普及を行い、行動を推進する一助となる。

### 1 事業の実施状況 及び 自己評価

	事業計画	事業実施結果
実 施 状 況	①実施対象者・対象人数(延べ人数) ・対象者:区民、障害当事者、保護者、教育・福祉関係者、外国籍の人々 ・対象人数:映画・講演会200人 フィールドワーク50名、行先の人数100名以上 相談会20人	対象者:区民、障害当事者、保護者、教育・福祉関係者、外国籍の人々 参加者:映画・講演会(9/29)87人 すぎなみシャルソン(10/27)26人 地域の人々無数 相談18人
	①実施内容 ・映画上映と講演会:「不登校の真実」上映と子どもの権利条約学習会、講師・障害当事者 ・阿佐ヶ谷地域等のフィールドワーク:区内のマイノリティの暮らしを訪ねる。ソーシャルマラソンの形。 ・映画上映と講演会:震災から学ぶ共生社会の防災、「Workers 被災地に起つ」上映と東日本大地震・福島原発事故被災者・避難当事者の講演 ・相談会:就学・自立生活相談	映画上映と講演会「不登校の真実」(学校に行かないことは悪いことですか?)上映 学習会「子どもの権利条約」講師 高木あきなり(障害当事者、子どもの権利条約ネットワーク運営委員)解説 宮川正文(元子ども権利支援センター長)質疑応答 すぎなみシャルソン 阿佐ヶ谷地域区民センターで、2人の障害当事者のお話とオリエンテーションの後、阿佐ヶ谷、高円寺地域で街を給○ポイント等体験、阿佐ヶ谷駅南口駅前広場にゴールし、同上の集会室でシェアリング 相談会 障害児・者と家族 自立生活、就学、いじめ
	③実施回数・スケジュール・実施場所 ・映画・講演会:区内地域区民センター2回、7月15日、2020年2月 ・フィールドワーク:阿佐ヶ谷地域等各地、区民センター、1回、10月 ・講演会・ワークショップ:区内地域区民センター1回、12月 ・障害児・者相談会:事務所等、随時	映画・講演会(9/29)永福和泉地域区民センター すぎなみシャルソン(10/27)阿佐ヶ谷地域区民センター 阿佐ヶ谷地域 高円寺地域 障害児・者自立、就学相談会 随時 てんぐるま事務所
	④実施体制(実施方法や設備、従事者等の確保状況) 講師3人、フィールドワークのファシリテーター1人 シャルソン経験者 当NPOスタッフ5人、ボランティア5人 デザイナー1人	スタッフてんぐるま5人ボランティア6人 講師3人 解説者1人 シャルソンファシリテーター1人 デザイナー1人
	⑤広報活動(活動や事業の周知・PRの状況) チラシ配布・団体WEBサイト・SNS・広報すぎなみ その他	チラシ配布(区民センター、集会所、図書館等) 団体WEBサイト・フェイスブック・広報すぎなみ 過去の事業参加者にメール連絡

## 2 実施事業の効果・成果 及び 自己評価

	事業計画時	事業実施後
効果・成果 及び 自己評価	<b>当初予定したニーズがありましたか。新たな問題提起ができましたか。</b>	
	今年、区内のJR駅や区施設での障害者差別事象があった。全国で子どものいじめ、虐待もある。ヘイトスピーチも多発している。それは地域で暮らす誰もが生きる権利が侵されている表れでもある。もし仮に今大地震が起こったら、一番犠牲になるのは誰か。誰もが孤立しない、安心して地域に在ることができる社会を作るために、「共生社会」の推進へ、「心のバリアフリー」を実現するため、行動を起こす啓蒙、きっかけが必要である。	不登校の子どもの現状と子どもの権利条約の学習は、多くの区民が参加し関心が高く、意義のある啓蒙・啓蒙になった。シャルソンは、同じTシャツを着て、一緒に車いすと電車に乗り、街を巡ることで、大きな注目を集めた。事前の給○ポイントの勧誘も反応が良かった。バリアフリーができていない街の実態が分かり、誰ひとり取り残さないことを目指すSDGsの課題が提起できた。
	<b>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>	
	<input checked="" type="checkbox"/> ①あった <input type="checkbox"/> ②概ねあった <input type="checkbox"/> ③あまりなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどなかった	
	<b>団体や地域特性をどのように生かした活動になりましたか。</b>	
	昨年度の「心のバリアフリープロジェクト」事業等で繋がった障害当事者・団体、教育関係者の協力を得て行く。杉並で暮らす障害当事者、マイノリティの外国人等は、地元で生活してきたからこぞ知っている知識、情報がある。その視点から杉並区の推進しているユニバーサルデザインが地域でどのように活用されているのか、展望と問題を実地に感じ取り地域に浸透させていける活動を目指す。共生社会の地域防災も考える。	以前の事業等で繋がった障害当事者・団体、教育関係者の協力を得て今回の活動ができた。地元地域の学童クラブの指導員が多く参加した。杉並の障害当事者、マイノリティの外国人等との交流が深まり、区内の教育関係者の参加により杉並区の推進しているユニバーサルデザインが地域でどのように活用されているのか、問題を実地に感じ取り地域に浸透させていける活動になった。地元の商店、街の人々との交流ができた。
	<b>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>	
<input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった		
<b>当初想定した「期待される効果」をあげることができましたか。</b>		
屋内の講演会等だけでなく、障害当事者、外国人、区民が街中を地域の中を動き回る「シャルソン」という形で行うことにより、身近に接し自らの問題として考えるようになる。共生社会の視点から地域防災を考えるきっかけ。 (助成を受けることで、団体活動や事業発展にどのような効果がありますか) 事業の継続が保障され、さらに発展する可能性がある。マイノリティの人々と繋がり、地域とともに生きていく共生社会の実現へ障害者・団体や関係NPO団体とのネットワークが強化・拡大され、今後の事業展開の推進力になる。	障害当事者が街を巡り、地域の中で生きることを区民に訴えることができた。直接当事者と接することが差別をなくし、共生社会を作ることになる。参加者と給○ポイントの方、道行く人々が楽しんだことが何よりの成果。子どもの権利条約を学び、不登校の現実を知ることによって一人一人の権利と、人権を大事にする大切さを理解できた。市民、教師、学生、教育・障害・福祉現場で働く人たちにインクルーシブな社会を目指していく意欲、目標を示すことができた。学習したことを実践に生かしていく人が出てきている。	
<b>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
<input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった		
<b>今回行った事業を通して、理解者や支援者は広まりましたか。</b>		
屋内の講演会等だけでなく、街に出て訴えることの重要性が良く分かった。初めて車いすが入った店もあり理解者が確実に増えていると感じた。今後も活動を継続し、少しずつではあるが、歩みを止めることなく継続すれば理解者は増え、支援者が広まることを実感した。杉並区民にもっと知ってもらい、インクルーシブ社会を杉並区で作っていくために協働を強めていきたい。誰もが、等しく、ともに学び、ともに育ち、ともに生きることを目指し活動を強めていきたい。		
<b>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> ①広がった <input type="checkbox"/> ②多少広がった <input type="checkbox"/> ③広がらなかった		

### 3 事業は当初の予定どおり実施できましたか。

自己評価	映画・講演会、シャルソン、相談会は実施できたが、①「Workers 被災地に起つ」上映と原発事故被災者の講演 ②講演・ワークショップはできなかった。①は会場確保と講師の都合で開催時期が遅れ、新型コロナウイルスもあり、開催できなかった。②は予算の都合で開催を中止した。
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p> <input type="checkbox"/> ①できた                      <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた                      <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった                      <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった             </p>

### 4 「杉並区NPO支援基金」の普及啓発活動はできましたか。

普及活動等	事業のチラシに「杉並NPO支援基金」のタイトルを入れ、会場でのあいさつで、助成事業への支援を訴えた。会場で募金箱、のぼり等を設置した。
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> ①できた                      <input type="checkbox"/> ②概ねできた                      <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった                      <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった             </p>

### 5 課題と今後の活動について

今後課題の活動	事前の準備を早く整えて、事業を予定通り行うことが課題。区内でのシャルソンは初めての試みだったが、今後も挑戦していきたい。屋内だけでなく屋外でのイベントを考えていきたい。今後も共生社会の実現へ、様々な事業を行い活動を継続していく。
---------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 6 活動状況について

★具体的な活動風景の写真などを貼付




## 7 収支決算

事業費	[D]	194,007	助成金	[E]	132,505
-----	-----	---------	-----	-----	---------

	収入		支出	
	予算額	決算額	決算額内訳	
団体負担金	37,500	10,502		
参加費・資料代等	80,000	33,000	映画・講演会(9/29)参加費@500×66名	
		18,000	シャルソン参加費(10/27)@1000×18名	
その他の収入				
計	[C] 117,500	[F] 61,502	自己資金等	
助成金	[B] 150,000	[E] 132,505	NPO活動資金助成金	
合計	[A] 267,500	[D] 194,007		

費目	予算額		決算額		決算額内訳
	助成金対象経費	自己資金等対象経費	助成金対象経費	自己資金等対象経費	
①謝礼金等 (講師が団体内部 の場合は対象外)			20,000		映画・講演会(9/29)講師謝礼@20,000×1名
			10,000		映画・講演会(9/29)解説人謝礼@10,000×1名
			20,000		シャルソン講師謝礼(10/27)@10,000×2名
小計	50,000		50,000		
②旅費・交通費			1,000		駐車代@500×2回
				4,000	講師交通費@2,000×2名
				2,700	駐車代
小計	1,000	34,000	1,000	7,500	スタッフ交通費@1,500×3名×2回
③備品費・消耗品費			2,875		文具・コピー代
			3,000		看板製作費
				4,850	シャルソン材料費
小計	12,000	35,000	5,875	19,712	シャルソンTシャツ代
④通信運搬費			120		郵便代
			1,490		宅配費
小計	2,000		1,610		
⑤印刷製本費 (デザイン・原 稿作成含む)			3,320		チラシ作成(9/29)
			3,000		チラシ作成(10/27)
			21,000		チラシ2回・募集・Tシャツデザイン料
小計	40,000		27,320		
⑥使用料・賃借料			12,200		会場使用料(9/29)
			4,500		会場使用料(10/27)午前、夕方
			30,000		上映権(9/29)@30,000×1回
小計	45,000	37,500	46,700	9,800	会場使用料(打合せ5回)
⑦その他の経費				2,600	シャルソン飲料代@100×26名
				1,340	シャルソン次回開催地お土産代
				1,000	シャルソン損保ジャパン保険
				8,000	ボランティア実費弁償@2,000×4名
小計		11,000		12,940	
合計			132,505	61,502	
				-17,495	交付済助成金と助成金決算額との差額
	[B] 150,000	[C] 117,500	[E] 132,505	[F] 61,502	
[A] 267,500		[D] 194,007			

☆ 注意事項(1)単価が10万円を超える物品は、見積書等を添付してください。(2)団体運営のための継続的な経費は助成対象外とします。

## 助成金対象事業報告書(令和元年度)

団体名	特定非営利活動法人日本失語症協議会
事業名	第2回・第3回「要点筆記入門講座」
事業(該当区分に○)	1. スタートアップ事業    ○2. ステップアップ事業
事業概要	言語聴覚士の指導の下、失語症のある方が集団でいる場合「友の会、集会。会議、講演会」等の意思疎通の支援方法である要点筆記を演習を交えて学ぶ実践講座
事業目的	失語症のある方が住いの地域において、また、活動するあらゆる場面において、周囲の理解が得られ、その場に即した意思疎通の支援が得られれば、地域で当たりまえの生活を送ることができることが可能になる。今回は、社会的障壁の軽減に寄与するべく、複数の失語症のある方がいる時の意思疎通の支援方法である「要点筆記」を演習も交えて、学ぶ。

### 1 事業の実施状況 及び 自己評価

	事業計画	事業実施結果
実 施 状 況	①実施対象者・対象人数(延べ人数) 言語聴覚士、意思疎通支援養成講座終了者、会話パートナー。(失語症の基本的知識を持っている方)	第2回の講座は、手元での作業で、支援者が講演者の言葉を聞きとりそれを、要約して、紙に書いて失語症者に講演の内容の要点を知らせる。第3回は、集団を想定して、パソコンやアプリを利用して、講演を聞きながら支援者がパソコンの入力した、講演の内容の要点を多くの参加者に知らせる方法を学んだ。
	②実施内容 「要点筆記入門講座」2時間30分の講座を2回実施	第2回は、参加者は、16名。第3回参加者は6名    2回目参加者はほぼ、予想通りであった。3回目は実行場所がパソコン、タブレットの講習であったため、タイピングができない、タブレットの使用がうまくできないなどの理由が多く、その上、会場が駅から離れており、夕方からの開催であったことが、参加者が少なかった。
	③実施回数・スケジュール・実施場所 第2回:2019年10月20日:18時～20時半:場所:言語生活サポートセンター 第3回:2020年2月20日:18時～20時半:場所:ウエルファーム杉並	日本ではじめて要点筆記のテキストを昨年作成し、本年は、その使い勝手を検証しながら、改訂版の作製になった。手探りであった昨年の実績を見極め、今年度は、使いやすいテキストの改訂版ができている。また、第1回、第2回は支援者は、手元での支援であったが、今回第3回は大きく形を変え、パソコンタブレットの使用となって、要点筆記の能力とパソコン、タブレットの基礎知識に加え、要点筆記の能力も必要ということで、大変困難な講習会となった。
	④実施体制(実施方法や設備、従事者等の確保状況) ※講師・言語聴覚士3名 テキスト政策担当者。及び、講習会講師言語聴覚士3名 家族ボランティア4名	計画は2回とも同じ会場であったが、言語生活が2019年末、荻窪事業所を閉鎖したので、2月の会場はウエルファーム杉並に変更した。
	⑤広報活動(活動や事業の周知・PRの状況) 広報杉並に掲載 当協議会機関誌掲載、更に以前、協議会の失語症講演会、講習会に参加した方にチラシ申込書を郵送、協議会のFacebook、ツイッター、インスタグラム等も利用して周知に努めた。	当初計画の通り実施

## 2 実施事業の効果・成果 及び 自己評価

	事業計画時	事業実施後
効果・成果 及び 自己評価	<b>当初予定したニーズがありましたか。新たな問題提起ができましたか。</b>	
	失語症を支援している方々の失語症者の社会参加に必要なニーズに応じた講習会。	要点筆記は、大変技術的に難しく、支援者が、講演内容を聞いて理解する能力と共に、文章を要約する力、更に、パソコンやタブレットを使いこなす力などが総合的に必要であり、単回の講習会では決して、使いこなすことはできない。参加者からは引き続き、講習会の開催を望む声が多く聞かれた。会としては、更に、講習会の継続に努力していきたい。
	【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>	
	<input checked="" type="checkbox"/> ①あった <input type="checkbox"/> ②概ねあった <input type="checkbox"/> ③あまりなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどなかった	
	<b>団体や地域特性をどのように生かした活動になりましたか。</b>	
	当団体は、失語症者の当たり前の生活を目指しており、その一つの目標を達するべく、開催した今回の講習会は、支援者である参加者の、支援の在り方に大きな刺激となるはずである。	昨年から施行されている、脳卒中。循環器病対策基本法の法案にのっとり、脳卒中の後遺症を持つ者、特に、失語症者に関しての日常生活を円滑に進めるための措置を講じなければならないという、附則第3条の条文 にある通りに、失語症者の社会参加の障壁を低くするためにも、要点筆記講習を継続し、要点筆記者の養成に努めていきたい。
	【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>	
	<input checked="" type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった	
<b>当初想定した「期待される効果」をあげることができましたか。</b>		
要点筆記は失語症者の社会参加の一助となると支援者に理解していただき、その技法を学んでいただく事で、支援者の支援の引き出しが増え、失語症者の社会参加が進むであろうと効果があるものと期待している。	参加したメンバーからは要点筆記は、難しい技法であるが、身につければ失語症者の社会参加も進むと同時に、支援者の具体的な支援方法の提示にもなり、大変役に立つ技法であるとコメントがあった。	
【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった		
<b>今回行った事業を通して、理解者や支援者は広まりましたか。</b>		
終了したばかりで理解者や支援者が広がったかは不明であるが、少なくとも、現在、失語症者の支援をしている方々に失語症者への支援が会話のみならず、書いて理解してもらう方法も、特に重要な局面において、話ことばだけではなく、要点を書いて示すことで、失語症者への理解が深まることを認識していただくことができた。大きな前進であると理解している。		
【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> ①広がった <input type="checkbox"/> ②多少広がった <input type="checkbox"/> ③広がらなかった		

### 3 事業は当初の予定どおり実施できましたか。

<b>自己評価</b>	<p>参加した言語聴覚士、意思疎通支援者、会話パートナーの方々には、大変有意義な講習であり、今後も継続を望まれた。また講師の3名の言語聴覚士も講習をしながら、自身の勉強にもなるとの意見が出た。要点筆記は日進月歩であり。パソコンやタブレットの性能も、日々向上していく。それらに、追いついて、要点筆記の技術も向上が望まれている。日々の精進を怠らずに、失語症のある方の社会参加の支援を高めていけるように、思いを新たにしている。この講習が、何らかの形で継続できるように努力を重ねていきたい。今回の合計2回の講習は、参加者にも、講師にとっても、大変成果の上がるものであった、支援基金に心からの感謝をお伝えしたい。</p>
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> ①できた                      <input type="checkbox"/> ②概ねできた                      <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった                      <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった             </p>

### 4 「杉並区NPO支援基金」の普及啓発活動はできましたか。

<b>普及活動等</b>	<p>旗や垂れ幕など、参加者がこの基金の出資場所を理解していただくとともに、募金箱への募金もいただくことができました。</p>
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> ①できた                      <input type="checkbox"/> ②概ねできた                      <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった                      <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった             </p>

### 5 課題と今後の活動について

<b>今後課題と活動</b>	<p>マンパワーと、資金とのダブルの困難がある、協議会事務所であり、すべてのボランティアは、失語症当事者或いは家族であり、高齢化と共に、家庭介護の困難を抱えている。そのような中で、協議会事務局のみでの事業の継続が難しくなっている現状がある。助成金の書類にしても(ほとんどの作業は)、それぞれ介護の困難を抱えており、事務所ではできず、在宅での作業を余儀なくされている現状であり、今後の協議会の継続が一番の課題です。</p>
----------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 6 活動状況について



## 7 収支決算

事業費	[D]	260,188	助成金	[E]	207,385
-----	-----	---------	-----	-----	---------

	収入		支出	
	予算額	決算額	予算額	決算額
団体負担金	10,260	9,803		
参加費・資料代等	60,000	43,000	第2回 16名 24,000 第3回 6名 8,000 テキストのみ 11,000	
その他の収入				
計	[C] 70,260	[F] 52,803		自己資金等
助成金	[B] 211,000	[E] 207,385		NPO活動資金助成金
合計	[A] 281,260	[D] 260,188		

費目	予算額		決算額		決算額内訳
	助成金対象経費	自己資金等対象経費	助成金対象経費	自己資金等対象経費	
①謝礼金等 (講師が団体内部 の場合は対象外)			20,000 60,000 10,000		要点筆記メイン講師謝金2回分 要点筆記講師実習担当謝金@10,000×3名×2回分 テキスト改訂謝金
小計	90,000		90,000		
②旅費・交通費			6,000		講師交通費@1,000×3名×2回分
小計	6,000		6,000		
③備品費・消耗品費			1,320 5,000		模造紙(AO用紙)@88×15個 無地用紙、長3封筒、宛名シール2回分
小計	6,600		6,320		
④通信運搬費			16,800 17,952		居宅介護支援事業所、障害福祉サービス事業所等へ送付案内用 切手2回分
小計	27,700		34,752		
⑤印刷製本費 (デザイン・原 稿作成含む)			1,430 11,500		2回目チラシ 3回目チラシ、その他印刷 テキスト印刷
小計	11,300	70,000	12,930	52,600	
⑥使用料・賃借料			22,000 11,000 4,900 5,700		事前会議2回分室料 2回目室料 3回目室料 プロジェクター2回分
小計	55,000		43,600		
⑦その他の経費			1,200 294 289 12,000	203	行事保険、払込手数料 講師水3人分 講師水3人分 受付@2,000×3×2回分
小計	14,400	260	13,783	203	
合計			207,385	52,803	
				-3,615	交付済助成金と助成金決算額との差額
	[B] 211,000	[C] 70,260	[E] 207,385	[F] 52,803	
	[A] 281,260		[D] 260,188		

☆ 注意事項(1)単価が10万円を超える物品は、見積書等を添付してください。(2)団体運営のための継続的な経費は助成対象外とします。

## 助成金対象事業報告書(令和元年度)

団体名	特定非営利活動法人 みかめぐみ
事業名	重度障害児とその家族の自立生活支援事業
事業(該当区分に○)	1. スタートアップ事業 <input checked="" type="radio"/> 2. ステップアップ事業
事業概要	重度障害児とその家族が地域で自立した生活を送るための基盤を作ることを目的として、以下の事業を行う。①障害児者本人への実体験機会の提供、②クラウドソーシングを活用した保護者への就労支援、③きょうだい児支援、④重度障害児者と地域の人々との交流促進。
事業目的	家庭内だけで困難を抱え込みながら社会から孤立してしまっている重度障害児者とその家族が、個々の存在を尊重され、自立した一個人として地域社会において主体的に生活するための基盤を作ることを目的としている。

### 1 事業の実施状況 及び 自己評価

	事業計画	事業実施結果
実 施 状 況	<b>①実施対象者・対象人数(延べ人数)</b> (1)実体験機会の提供【プール教室】重度障害児者(30人)【コンサート】重度障害児者や地域住民(80人) (2)就労支援事業:重度障害児者の保護者(5人) (3)きょうだい児支援勉強会:保護者及び支援者等(10人) (4)交流会:重度障害児者とその家族及び住民(30人)	(1)【プール教室】3回実施(7,12,1月)、延べ22人参加 【コンサート】15家族45人参加 (2)就労支援事業:【発注業務】13件【従事者総数】13人 【ワークショップ】1回開催(11月)、5人参加 (3)きょうだい児支援勉強会:15人参加(保護者11人、支援者4人) (4)交流会:12家族27名参加
	<b>②実施内容</b> (1)重度障害児者と主対象としたプール教室及びコンサートの開催 (2)クラウドソーシングを活用した就労支援並びに必要なスキルの指導 (3)重度障害児者のきょうだい児への支援 (4)重度障害児者と地域の人々との交流会の開催	(1)【プール教室】実施回数の変更(4回→3回) 理由:会場であるこども発達センター室内プールの故障 【コンサート】予定通り実施 (2)就労支援事業:就労はテープ起こし、モニター業務を受注し対象保護者に発注完了 (3)きょうだい児支援勉強会:予定通り実施 (4)交流会:謝礼金額の変更(42,000円→28,000円) 理由:ファシリテーターの人数が3名から2名に変更になったため
	<b>③実施回数・スケジュール・実施場所</b> (1)実体験機会の提供 【プール教室】対象期間中4回・区立こども発達センター 【コンサート】2019年12月・済美養護体育館 (2)就労支援事業▶クラウドソーシング活用、在宅にて実施▶期間:2019年4月～2020年2月 (3)勉強会 2019年6月・区内公共施設 (4)交流会 2020年2月・マイルドハート高円寺	(1)【プール教室】開催日:7/13・12/14・1/11、 会場:杉並区立こども発達センター、講師:藤村和也氏 【コンサート】開催日:12/7、会場:済美養護学校体育館、 出演者:ブルミエ (2)就労支援事業:【就労】13件の受注があり在宅にて実施 【ワークショップ】開催日:11/24、会場:ウェルファーム杉並 講師:キャリアコンサルタント村林瑠美氏 (3)勉強会 開催日:6/27、会場:高井戸地域区民センター 講師:有馬桃子氏 (4)交流会「カフェトーク」 開催日:2/16、会場:マイルドハート高円寺、 ファシリテーター:2名(社団法人machitowa)
	<b>④実施体制(実施方法や設備、従事者等の確保状況)</b> 実体験機会の提供、勉強会、交流会といったイベントに関しては、講師、ボランティア、バリアフリー会場が必要であるが、確保のめどはついている。 就労支援事業に関しては、PC2台を確保済みであり、本助成によりモバイルwifiを購入予定。	(1)【プール教室】こども発達センターに団体利用申請。 【コンサート】ボランティア21名、ヘルパー2名、事務局2名 (2)就労支援事業:在宅での就労のためオンラインにてやりとり。 ワークショップは区内施設を借用し開催。スタッフ2名、講師1名 (3)勉強会 企画運営:会員4名 (4)交流会 ボランティア20名、オルゴール演奏者2名、事務局2名  ボランティアへの声掛けは、団体WEBサイトに応募してきたボランティア希望者、区内大学に在籍している大学生、区内福祉施設等従事者に実施。
	<b>⑤広報活動(活動や事業の周知・PRの状況)</b> チラシ配布、団体WEB・SNS・広報すぎなみの活用	団体WEBサイト・SNS及び講師のWEBサイト・SNSを活用

## 2 実施事業の効果・成果 及び 自己評価

		事業計画時	事業実施後
効果・成果 及び 自己評価	<b>当初予定したニーズがありましたか。新たな問題提起ができましたか。</b>		
		<p>重度障害者の地域生活への支援不足が起因となり、障害者本人のみならず家族全員がそれぞれの社会参加に対して多くの制限が課せられている。現状改善に向けて、障害者本人への支援、保護者やきょうだい児への支援、地域の理解促進が必要とされている。</p>	<p>ニーズはあった。                      実体験機会の参加者からは「家族でイベントに参加するのは初めて」「きょうだいも一緒に楽しむことができるイベントは貴重」といった声が寄せられた。                      きょうだい児支援の勉強会において、参加者は今まで誰にも相談できないでいたきょうだいに関わる悩み事などを共有することができた。                      就労支援事業では就労意欲のある保護者が多数存在した。また実際に就労支援事業には参加できずともワークショップに参加した保護者からは、「諦めていた自己のキャリアについて再度検討していきたい」といった感想が寄せられた。</p>
		【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>	
		<input checked="" type="checkbox"/> ①あった <input type="checkbox"/> ②概ねあった <input type="checkbox"/> ③あまりなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどなかった	
	<b>団体や地域特性をどのように生かした活動になりましたか。</b>		
	<p>当団体は障害当事者とその家族を会員としていことから、当事者のニーズを把握しやすい。ニーズに即した実体験機会や勉強会等の開催、保護者に対する就労支援が可能である。</p>	<p>アンケートや懇親会などを通して、会員から具体的なニーズを把握することができた。実体験機会や勉強会の開催、保護者への就労支援を実施するにあたり、きめ細かな対応をとることができ、結果的に多くの参加者を得ることができた。</p>	
	【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった		
<b>当初想定した「期待される効果」をあげることができましたか。</b>			
	<p>障害当事者やその家族が社会参加を行うことで、地域住民に対して自分と異なる立場にある人の存在に対する気づきを促すことができる。                      助成金を活用することで、専門家講師を招聘することができ、障害当事者とその家族に対して参加動機を高めることができる。</p>	<p>実体験機会や勉強会、交流会には多くの方々がボランティア等として参加し、こどもたちや保護者と交流した。今後も継続して関わっていきたく希望するボランティアが非常に多く、一過性に終わらない関わりをつくりあげている見込みがある。                      専門家講師の招聘や、具体的なニーズに沿った企画運営により、外出することが困難である障害当事者とその家族に対して、「大変だけど参加してみたい」という強い動機付けを行うことができ、実体験機会に多くの参加者があった。</p>	
	【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった		
<b>今回行った事業を通して、理解者や支援者は広まりましたか。</b>			
	<p>事業の企画運営を通じて、大学のボランティアサークル、ゼミ、他団体とのつながりができ、多くの理解者や支援者を得ることができた。大学のボランティアサークルやゼミとの関係を継続していくことで、今後社会を担っていくこととなる若者たちに、重度障害者とその家族に対する理解を広めていきたい。また、きょうだい児支援を行う他団体との協力により、きょうだい児の居場所づくりといった事業も実施していきたいと考えている。</p>		
	【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> ①広がった <input type="checkbox"/> ②多少広がった <input type="checkbox"/> ③広がらなかった		

3 事業は当初の予定どおり実施できましたか。

<b>自己評価</b>	障害者本人への実体験機会の提供、保護者への就労支援、きょうだい児支援、地域の人々との交流促進といった多面的な事業展開により、事業目的である「重度障害児とその家族が自立した一個人として地域社会において生活していくための基盤をつくること」を達成することができた。
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p> <input checked="" type="checkbox"/>①できた                      <input type="checkbox"/>②概ねできた                      <input type="checkbox"/>③あまりできなかった                      <input type="checkbox"/>④ほとんどできなかった             </p>

4 「杉並区NPO支援基金」の普及啓発活動はできましたか。

<b>普及活動等</b>	実体験機会や勉強会といったイベントにおいて、「杉並区NPO支援基金」に関するアナウンスを実施した。
	<p>【自己評価】 <b>いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</b></p> <p> <input type="checkbox"/>①できた                      <input checked="" type="checkbox"/>②概ねできた                      <input type="checkbox"/>③あまりできなかった                      <input type="checkbox"/>④ほとんどできなかった             </p>

5 課題と今後の活動について

<b>今後の課題と活動</b>	障害児者が家族頼みで生活せざるを得ないことから、本人のみならず保護者やきょうだいを含めた家族全員が社会参加をする上で、何らかの制約を受けているという現状を改善していくために活動していく。障害当事者への実体験機会の提供を継続して実施していくとともに、障害児者が自立して生活できる社会体制を構築していくための事業を展開していきたい。
-----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 活動状況について

★具体的な活動風景の写真などを貼付



クリスマスコンサート



きょうだい児支援勉強会



カフェトーク



7 収支決算

事業費	[D]	601,983	助成金	[E]	201,803
-----	-----	---------	-----	-----	---------

	予算額		決算額		決算額内訳
収入					
団体負担金		482,192		362,480	団体負担金
参加費・資料代等		39,000		37,700	プール教室参加費 24,500円(7、12、1月分) イベント参加費 13,200円(6月、12月、2月分)
その他の収入					
計	[C]	521,192	[F]	400,180	自己資金等
助成金	[B]	242,000	[E]	201,803	NPO活動資金助成金
合計	[A]	763,192	[D]	601,983	

費目	予算額		決算額		決算額内訳
	助成金対象経費	自己資金等対象経費	助成金対象経費	自己資金等対象経費	
①謝礼金等 (講師が団体内部 の場合は対象外)			66,822		プール教室講師謝礼 @22,274×3回×1名
			30,000		コンサート演奏者謝礼 @30,000円×1回
			16,000		勉強会講師謝礼 @8,000円×2時間×1名
			28,000		ファシリテーター謝礼 @7,000円×2時間×2名
				10,000	就労支援ワークショップ講師謝礼 @5,000円×2時間×1名
小計	177,000	404,644	140,822	288,000	就労支援報酬
②旅費・交通費			20,500		ボランティア交通費 @500円×(21人+20人)
			2,000		ヘルパー交通費 @1,000円×1回×2名
			1,046		オルゴール演奏者交通費 @766+@280
小計	16,000		23,546		
③備品費・消耗品費			6,073		装飾3,959円、靴袋など220円、クリスマスカード作成1,894円
				97,848	就労支援PC+アプリケーション2台分
小計	4,000	97,848	6,073	97,848	
④通信運搬費			11,865		wifi代(8月~2月分)
			642		就労支援契約書郵送代
小計	10,800	3,600	12,507		
⑤印刷製本費 (デザイン・原 稿作成含む)				1,200	イベント進行資料等印刷
小計		500		1,200	
⑥使用料・賃借料			11,300		会場使用料 @2,500円(コンサート)、@8,800円(勉強会)
			1,800		会場使用料 @1,800円(就労支援ワークショップ)
小計	29,800	12,000	13,100		
⑦その他の経費			5,755		行事保険料 @3,452円(コンサート)、@2,303円(カフェトーク)
				2,160	借用施設へのお菓子代
				972	オルゴール演奏者へのお菓子代
小計	4,400	2,600	5,755	3,132	
合計			201,803	400,180	
				-40,197	交付済助成金と助成金決算額との差額
	[B]	[C]	[E]	[F]	
[A]		[D]			

☆ 注意事項(1)単価が10万円を超える物品は、見積書等を添付してください。(2)団体運営のための継続的な経費は助成対象外とします。